

役員所感

直前理事長 市川 裕光

昨年は公益社団法人上越青年会議所50周年という節目の年に、先輩諸兄が築いてきた歴史と伝統ある青年会議所運動を紐解く中で、創始の想いに触れ組織の成り立ちを認識し、その時々において地域に対して数多くの功績や成果を残されてきたことを改めて実感しました。青年会議所運動の伝統と誇りを引き継ぐ私たちにとって、運動の礎をしっかりと振り返った今、私たちを取巻く地域の課題に向け新たな一步を踏み出さなければなりません。

そのためには本年度代表理事として指名された佐藤理事長が、脈々と受け継がれる青年会議所運動の先頭に立ち一年間職務を遂行されていくために、理事長経験者という立場でしっかり支え協力してまいります。そして役員会や理事会などの諸会議においては、円滑な会議運営がなされるために包括的な見解に基づく助言に務め、それぞれが担う役割や役職を全うすることが組織の活性を創造し、事業においては確かな成果を残すことを奨励していきます。更に次代の担い手になり得る入会年度の若いメンバーに対しては、これまでの経験を生かし青年会議所運動の意義や見識を伝えることで、人材育成の一助となるよう行ってまいります。また各委員会が実施する事業については、一步後方からの支援という直前理事長の姿勢を保ちながらも、志を同じくする青年会議所メンバーの一人として、若者らしく積極果敢な姿勢で確かな実行力を持って参画してまいります。そして新潟ブロック協議会などへの出向により、LOMとの情報共有のパイプ役となって、スポーツ大会や各種事業への参画をメンバーに促すことで、新たな出会いや経験を積む場を創出します。

先輩諸兄から引き継いできた、私たち一人ひとりが地域に対する変革の能動者であるという自覚と責任を強く意識し、全てのものごとメリハリをつけて51年目の青年会議所運動の歩みを実践することで、明るい豊かな社会の実現がまた一步近づく事を確信します。